

国土交通大臣

石井 啓一 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成30年7月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	稲	田	寿	久
鳥	取	県	市	長	深	澤	義	彦
鳥	取	県	市	議	下	村	佳	弘
鳥	取	県	町	村	森	安		保
鳥	取	県	町	村	川	上		守
			議	会				
			議	長				
			副	会				
			会	長				
			副	会				
			長					
			副	会				
			長					
			副	会				
			長					

高速道路ネットワークの早期整備及び定時性・安全性の確保について

《提案・要望の内容》

【高速道路ネットワークの早期整備】

少子高齢化などにより人口減少が避けられない中、鳥取県では「鳥取県元気づくり総合戦略」において地方創生に向け整備すべき社会基盤として高速道路ネットワークを位置付け、「県内から消滅可能性都市をゼロ」にすることを目標に取り組を進めている。

高速道路ネットワークの整備は、観光・交流人口の拡大や企業進出による雇用創出など、本県に地方創生の実現に向けた着実な歩みをもたらしており、その整備効果を最大限に活用するため、地元自治体、地域住民、経済界等と協力した取組を行っているところであるが、人口減少が21年連続となるなど、地域の持続に向けた取組の一層の強化が必要となっている。

高速道路ネットワークは、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、地域の豊かな資源や特色を生かして将来にわたり鳥取県が発展していくために必要不可欠な基礎的な社会インフラであり、以下について強く要望する。

なお、山陰道（鳥取西道路）については、安全を第一に、一日でも早い供用をお願いする。

- 山陰道（鳥取西道路）の早期供用
- 山陰道（北条道路）の早期整備
- 山陰近畿自動車道（鳥取～福部間）の計画段階評価の促進
- 山陰近畿自動車道（岩美道路）の早期整備
- 米子・境港の高速道路の早期事業化に向けた検討の促進
- 事業中の地域高規格道路の早期整備
- 道路関係予算の総額の拡大

【高速道路の定時性・安全性確保】

県内の高速道路は、全て暫定2車線で整備されており、付加車線の整備率も僅か1割程度に留まっており、正面衝突事故の発生等により尊い人命が失われている。

さらに、平成29年の豪雪時には、延べ200台を超える大規模な滞留と延べ161時間を超える長時間の通行止めが発生したほか、冬期のスタックの頻発により、県内高速道路ネットワークが度々寸断され、地域経済を大きく損なうこととなっている。

高速道路本来の定時性・安全性を確保するため、付加車線整備中区間の早期供用と、付加車線設置等による暫定2車線の早期解消、並びに当面の安全対策としてのワイヤロープ設置、スタックが頻発する鳥取自動車道「志戸坂峠道路」の再整備を強く要望する。

- 米子自動車道の付加車線設置検証区間の早期供用
- 鳥取自動車道の付加車線整備中区間の早期供用
- 山陰道（米子道路）の付加車線整備中区間の早期供用
- 付加車線整備等による暫定2車線の早期解消及び、当面の安全対策としてのワイヤロープの早期設置
- 鳥取自動車道（志戸坂峠道路）の再整備

■ 県内高速道路の整備状況

		整備状況				付加車線		
		平成 29 年度末		鳥取西道路供用時		全国 (H29 末)	設置延長	
路線名	計画延長	供用延長	供用率	供用延長	供用率		供用延長	整備率
山陰道	88.0	57.0	64.8%	74.5	84.7%		6.6	7.5%
鳥取自動車道	38.4	38.4	100.0%	38.4	100.0%		1.1	2.9%
米子自動車道	48.2	27.2	56.4%	27.2	56.4%		8.2	17.0%
合計	174.6	122.6	70.2%	140.1	80.2%	81.9% 鳥取県 42 位	15.9	9.1% ※付加車線延長/計画延長

■ 高速道路整備と連携しストック効果を一層高めるための地域プロジェクト

○ 工業団地の整備

- ・高速道路ネットワークの整備促進を見据え、沿線の自治体と連携し企業立地促進のための工業団地を確保。

分譲中：13箇所 準備中：5箇所 未買収であるが提供可能として確保した箇所：7箇所

○ 融資制度の創設などによる県外企業の誘致促進及び県内企業の新増設の促進

- ・県外企業の誘致 86社（5,722名の雇用を確保）
- ・県内企業の新増設 287社 (H20～H29：10年間の実績)

○ 県内観光の魅力向上

- ・水木しげるロードのリニューアルや近隣県と連携したサイクリングロードの構築など、県内観光の魅力向上を推進。
- ・様々な施策と連携し新たなインバウンド観光需要の創出を行うことで、平成28年度に創立された山陰DMOが掲げる平成32年の外国宿泊者数の40万人（対平成27年度比3.3倍）の達成を目指す。
- ・鳥取県東部5市町に加え、兵庫県美方郡2町も参加した官民で観光振興を推進する「麒麟のまち観光局」が平成30年1月に発足。若年層と訪日外国人を重点ターゲットに、平成34年度の入込客数として平成27年度比27%増の800万人を目指す。

鳥取県は、高速道路ネットワークを活用し『地方創生の実現』を目指します!!

要望



【鳥取県元気づくり総合戦略からの抜粋】

○社会基盤の充実

地方創生を実現するためには、観光・交流人口の拡大や物流の効率化が必要であり、そのためにも全国の高速道路ネットワークとつながることが必要です。山陰道や山陰近畿自動車道など高速道路未開通区間や地域高規格道路の整備促進、また開通区間においても付加車線や4車線化などの機能向上を進めます。

高速道路の整備と活用の促進により

『鳥取県の元気づくり』を推進!!



『豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる』
 高速道路の整備により観光客の溢れる鳥取県に!!

要望

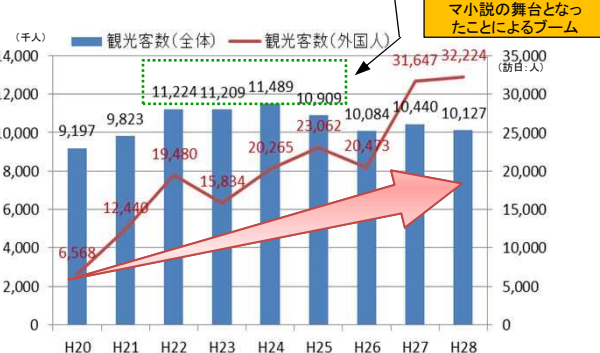


高速道路ネットワークの整備により、**県内の移動時間の短縮による周遊範囲の拡大**などを図り、魅力溢れる自然を活かした体験など、自然を満喫できる環境を活かして、**豊かな自然でのびのびと鳥取らしく生きる**取組を推進します。

高速道路の整備が『観光振興』を加速！！

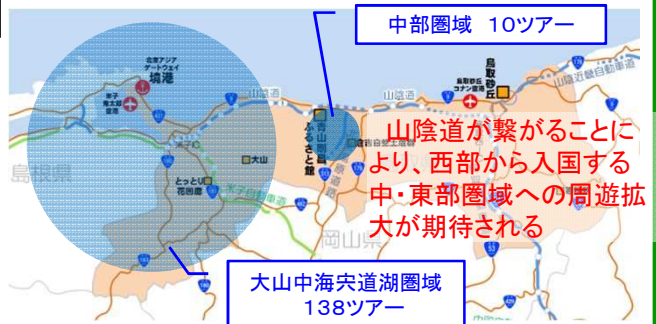
観光入込客の増加

高速道路の整備により移動の利便性が向上し、鳥取県を訪れる観光客は増加！！



外国人による周遊観光の増加

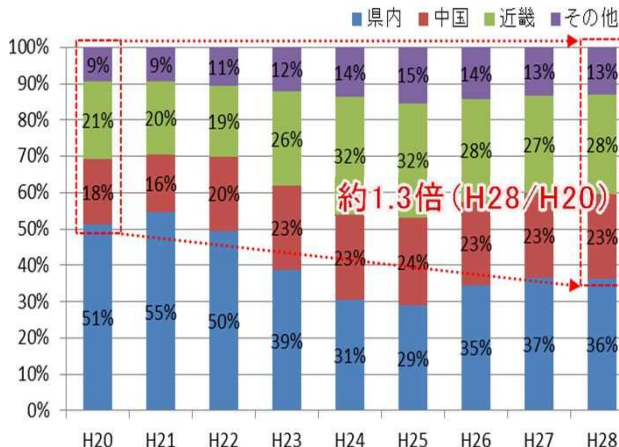
鳥取県を訪れる外国人も急増し、高速道路を利用してバスツアーやレンタカーで圏域を周遊！！



周辺圏域からの観光客が増加

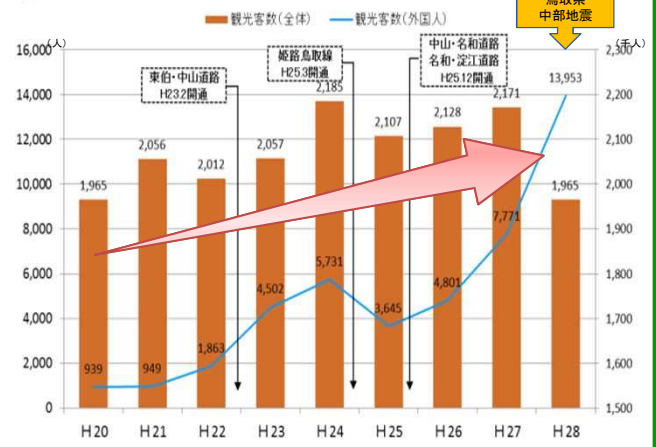
高速道路の整備により、中国地方、近畿地方を中心に周辺圏域から訪れる観光客が増加！！

※県外観光客の占める割合は約1.3倍(H28/H20)に増加



県中部の観光客も増加

高速道路の開通に伴い県中部を訪れる観光客も増加し、県西部から入国する外国人も中部圏域を観光！！



※観光客数(外国人)は青山剛昌ふるさと館のデータ

『幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ』 高速道路の整備により経済活動を活性化!!

要望

高速道路ネットワークの整備により、大都市や交通拠点、物流拠点等とのアクセス性を向上させ、物流をはじめとする経済活動の効率化を図ることで、大都市に向かう流れを反転させ、地域に活力を生み出します。

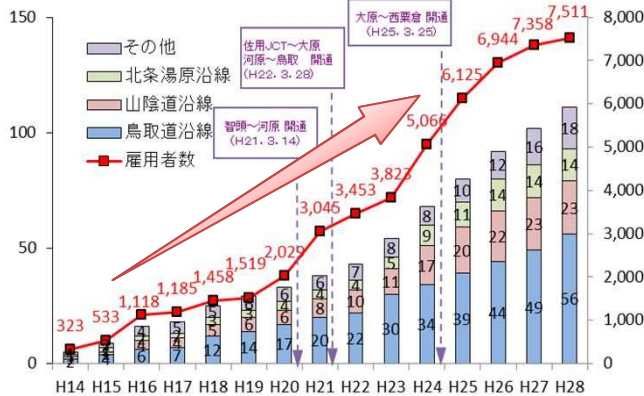


高速道路の整備が『経済活動』を活性化！！

企業進出による雇用者数の増加

高速道路整備により都市圏との時間的距離が近くなり、企業進出などにより新たな雇用を創出！！

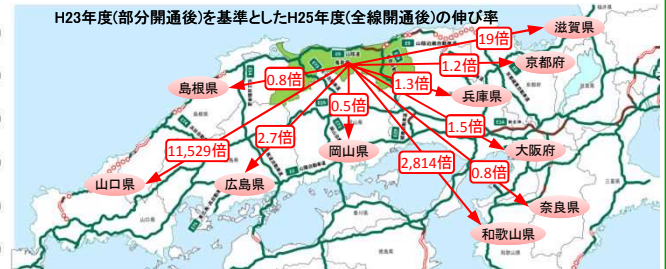
企業進出の状況



自動車貨物輸送量の増加

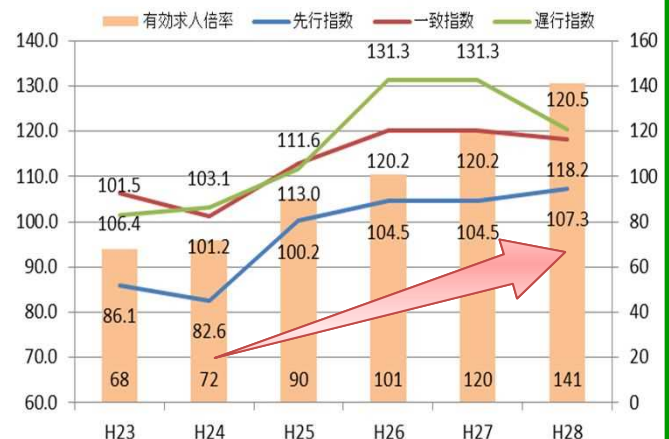
鳥取自動車道の全線開通時には関西や広島方面への貨物輸送量が大幅に増加するなど、圏域を結ぶ物流の活性化が促進！！

鳥取道全線開通時の物流の変化



景気動向指数の増加

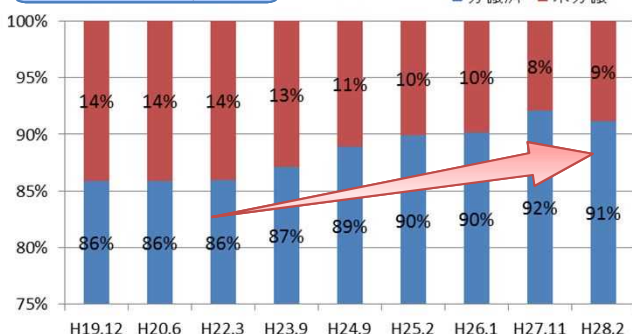
高速道路の開通とともに景気動向指数も上昇し、有効求人倍率も大きく伸びるなど、経済活動の活性化が加速！！



工業団地の分譲も促進

工場団地の分譲も進み、新たな工場団地の造成にも着手し、さらに企業誘致を促進！！

工業団地の分譲状況



『幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ』 つながった道路を地域が活かす!!

要望

道の駅「西いなば気楽里」
平成31年春オープン予定



各地域で様々なスタイルの小さな拠点づくりが進められており、高速道路ネットワークを活用し、道の駅などの小さな拠点を核として観光客を呼び込み、地域間交流を加速させ、域内周遊を促すことで、地域に活力を生み出します。

高速道路の整備と小さな拠点づくりの相乗効果が地域の活性化を加速!!

道の駅「琴の浦」
重点道の駅

地域の玄関となるゲートウェイ型の道の駅「琴の浦」と地域振興の核となる地域センター型の道の駅「ポート赤碕」の連携により、地域に人を呼び込み、地域の強みを活かして、地域を活性化



道の駅「きなんせ岩美」



道の駅を拠点として、地域が持つ強みを活かし連携させることで、農山村・漁村で元気に安心して暮らし続けることができるまちを構築



